

統合報告書2024の発行にあたり

統合報告書の発行も6年目を迎えました。毎年、発行後には投資家の皆様からご意見を頂戴し、経営の深化につなげています。また、当社グループの目指す方向性や戦略、ガバナンスについて、財務・非財務の両面から、より多角にご理解いただけるよう取り組んでまいりました。今年度の報告書の主なポイントは、以下の通りです。

▼ ポイント

- 2024年度からスタートした新中期3か年経営計画について、トップ（代表取締役社長）の考えや実際の取り組みなどの解説を補足し、長期循環型ビジネスモデルを推進しながら、資本効率も重視する経営の大きな転換点であることをお伝えします。
- 2024年度は事業や部門の責任者が登場し、自らの言葉で方向性や戦略を発信することで、これまでの文章を中心とした解説よりも具体性と信頼性を高めます。
- ガバナンスの実効性向上に向けた各種取り組みの解説に加え、社外取締役視点での当社の評価や課題について、意見交換や各トピックへの寄稿を通してお示しします。社外取締役の関与の様子をお伝えするとともに、指摘いただいた点を踏まえ、改善に努めております。

また、報告書の形式も、冊子形式からWEB閲覧を前提としたものに変更し、より多くの方にとって見やすい構成としました。今後も本報告書を通じて、ステークホルダーの皆様との対話を深め、価値共創と持続的な企業価値の向上に取り組んでまいります。



東急株式会社
常務執行役員 経営企画室管掌
「統合報告書2024」発行責任者

柏崎 和義

報告対象

報告対象範囲：東急株式会社および連結子会社（当社グループ）

報告対象期間：2023年4月1日～2024年3月31日（2023年度）を原則としていますが、一部当該期間の前後に活動する記述も含まれます。

発行時期：2024年9月

〈将来の見通しに関する特記事項〉

この報告書に記載されている意見や見通しは、報告書作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではありません。このため将来の業績は当社の見込みと異なる可能性があります。

最新の情報はIRサイトをご参照ください。 <https://ir.tokyu.co.jp/ja/ir.html>

参照ガイドライン

IFRS財団の「国際統合報告フレームワーク」および
経済産業省「価値協創ガイドランス」を参照しています。



発行物の位置づけ

発行物	内容	Web
統合報告書	株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆様に向けて、当社グループの短・中・長期の価値創造について、サステナブル経営の仕組みとともに説明しています。（本書）	
会社案内	全てのステークホルダーの皆様に向けて当社の概要および取り組みを分かりやすく説明しています。	
有価証券報告書	金融商品取引法第24条1項に基づき作成し、関東財務局への提出を義務付けられている報告書です。財務状況に関する詳細な情報はこちらをご参照ください。	
コーポレート・ガバナンス報告書	「コーポレートガバナンス・コード」に従い、当社のコーポレート・ガバナンス（企業統治）の考え方や体制などを記述した、東京証券取引所へ提出している報告書です。機関設計、運用状況、取締役会の実効性評価などはこちらも併せてご参照ください。	
安全報告書	2006年の鉄道事業法の改正により公表が義務付けられた「安全報告書」として、東急電鉄の鉄軌道事業の安全に関する情報を体系的に記載しています。	

※サステナビリティの取り組み、環境データに関する詳細は、右記をご参照ください。 <https://tokyu.disclosure.site/ja>

CONTENTS 〈目次〉

私たちの目指すもの……………1	》 トップコミットメント ……………20	》 事業別戦略と実績 ……………36	》 ガバナンス ……………74
イントロダクション……………2		交通……………37	議長メッセージ・機関設計の概要……………75
発行にあたり……………5	》 経営戦略 ……………24	不動産……………39	ガバナンスハイライト……………76
CONTENTS 〈目次〉……………6	サステナブル経営の実践……………25	生活サービス……………41	社外取締役ミーティング……………77
》 東急を知る ……………7	経営計画の変遷……………26	ホテル・リゾート……………43	役員一覧……………81
At a glance……………8	課題認識と業績影響リスク・事業機会……………27		役員の専門性と多様性……………83
事業展開のフィールド……………9	中期3か年経営計画の基本方針と戦略……………28	》 サステナビリティ経営基盤 ……………45	取締役会の活動……………84
》 価値創造ストーリー ……………11	中期3か年経営計画の	サステナビリティマネジメント……………46	監査役会の活動……………86
価値創造の軌跡……………12	財務運営と経営指標……………29	サステナブル重要テーマ	指名・報酬……………87
価値創造プロセス……………13	重点施策〈1〉内部成長の実現……………30	(マテリアリティ)……………47	コンプライアンス・リスクマネジメント……………89
ビジネスモデル……………14	重点施策〈2〉成長投資継続……………31	安全・安心……………49	投資家との対話……………90
競争優位性……………15	重点施策〈3〉連結経営基盤強化……………32	ひとづくり……………52	
これからの沿線……………18	財務担当役員メッセージ……………33	人権……………59	》 企業情報 ……………91
美しい生活環境の創造……………19		脱炭素・循環型社会……………61	経営成績……………92
		知的資本……………68	11か年財務データ……………93
		ステークホルダーとの共創……………73	非財務データ……………95
			主な関係会社……………99
			会社概要・株式情報……………100

統合報告書2024のハイライト

1. トップコミットメント

▶ P.20~23

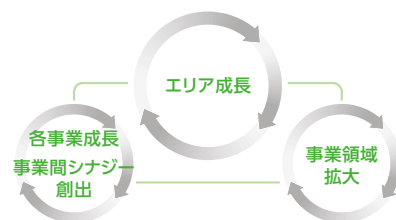
創造力でしなやかに、長期循環型ビジネスモデルで、「楽しく、豊かで、美しい」まちづくりを実現します。



2. 中期3か年経営計画

▶ P.25~32

中期3か年経営計画では「資本効率向上と財務健全性の両立」と「株主資本コストを強く意識した経営」に転換を図ります。



3. 社外役員の視点

- ・社外取締役ミーティング……………▶ P.77~80
- ・中期3か年経営計画策定に係る議論……………▶ P.32
- ・人的資本経営に向けて……………▶ P.58
- ・環境ビジョン実現に向けて……………▶ P.67